

海外安全対策情報（令和元年度第3四半期）

1 社会・治安情勢

パラナ州公安局発表によるクリチバ市の2018年の殺人件数は317件で、件数、殺人率共に依然として高い数値で推移している。2018年クリチバ大都市圏での殺人件数は765件、10万人あたりに換算すると23.3件、世界保健機構が許容範囲としている殺人件数（10万人あたり10件）の2倍強。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）クリチバ市及び大都市圏では近年、誘拐、ATM爆破強盗、携帯電話販売店や薬局店、レストラン及び住居を狙った武装強盗、運転中及び停車中を狙った車両強盗、武装集団による長距離バス及び路線バス内強盗が多発している。時間帯、場所を問わず銃器を使用した犯罪が増加しており、十分な注意が必要である。渡航情報（危険情報）については、パラナ州クリチバ大都市圏は「十分注意してください」を継続中。

（2）パラナ州西部に面する隣国との国境地帯（特にパラグアイ）からは頻繁に大麻等の麻薬類及び銃器類の密輸が行われており、軍警察による押収量は増加する一方である。近年、パラナ州は麻薬の搬入ルートのみならず麻薬消費地域となっており、麻薬絡みの犯罪も増加傾向にある。

3 犯罪事例（1月～3月）

（1）3月1日（日）夜間、クリチバ市内リンドイア地区で、59歳の会社経営者の男性が何者かにナイフで刺されて殺害された。警察の調べによると、被害者は運送会社を営しながら自動車の売買にも関与していた。同被害者に対する被害届数件が警察の女性担当局に出されていたため、本事件に関係している可能性もあるとみて捜査している。

（2）3月11日（水）午後13時頃、クリチバ大都市圏アルミランテ・タマンダレ市内マリア・マダレナ通り所在のカーザ・ロテリカ（各種公共料金の支払いや宝くじを購入できる機関）に二人組みの強盗が押し入った。一人が拳銃で従業員や客を脅している間にもう一人がレジや金庫内の現金を強奪し、バイクで逃走した。同カーザ・ロテリカのオーナーによると、同所が強盗被害に遭ったのは今回で過去一年の間に3回目。

（3）3月24日（火）午後、クリチバ市の主要バス路線の一つ「リーニャ・ヴェルデ」を走行中のバス内に二人組みの強盗が乗り込み、模造拳銃で乗客を脅しながら携帯電話を強奪し始めたところ、乗客の一人が隙を見て強

盗の一人を取り押さえた。もう一人はその場から逃走。取り押さえられた男は駆けつけた軍警察に引き渡された。軍警察によると、模倣拳銃は精巧にできており、模造の質の高さは軍警察でも驚くほどであった。

- (4) 3月24日(火) 夜間、クリチバ市内カンポ・デ・サンタナ地区にあるスーパーマーケットに拳銃を持った4人組みの強盗犯グループが押し入った。同グループはマーケットの入り口にいた警備員を複数人で蹴り動きを封じ、買い物客を脅しながら、約20分にわたって店内を物色した後、大量のタバコと現金を奪って逃走した。支配人によると、同店は今回が2回目の強盗被害。同地区では商業店舗の強盗被害が頻繁に発生しており、警備は実質上存在しないも同然という声も出ている。
- (5) 3月26日(木) 午後、クリチバ市内カポン・ラゾ地区にあるガソリンスタンドに二人組みの強盗犯が押し入った。同二人組みはスタンドの従業員を拳銃で脅しながら、併設のコンビニエンスストアのレジにあった現金やストア内にいた客三人ならびに従業員の所持金を奪って逃走した。